



# 関西センター特集

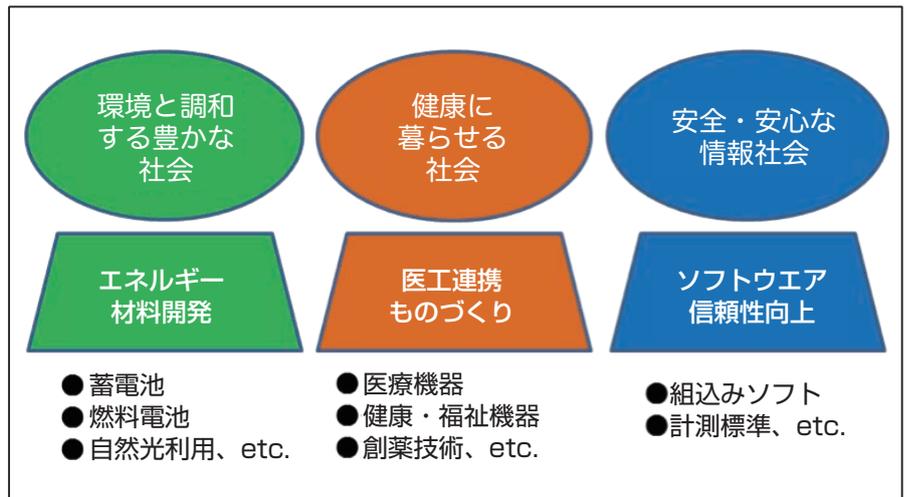
## 関西センターの概要

### 関西に生き、世界に伸びる

関西地域には、わが国有数の産業集積とともに大学や公立・企業研究所などの高い研究開発ポテンシャルがあります。産総研関西センターでは、こういった地域の強みを活かすため「ハブ」としての役割を果たしながら、産業界や大学、研究機関などと連携して、未来社会に貢献する技術開発を目指しています。具体的には、エネルギー問題解決に貢献する技術や、長寿社会において健やかで豊かな人間生活を実現する技術の創出に取り組んでいます。また、関西を組み込みシステム産業の一大拠点とするために、産業界と連携した技術者育成やシステム検証サービスに力を入れています。

### 材料開発を基礎にしたグリーンイノベーションへの貢献

日々の生活を支えるエネルギーは、安全性、安定性、環境性を考慮した供給体制が必要であることが改めて認識されています。関西センターを拠点とするユビキタスエネルギー研究部門では、生活に密着したエネルギー消費者の視点から、住宅用、自動車用、携帯機器用などの小型電源技術となる蓄電池、燃料電池をはじめ、照明などの家電製品での省エネ、省資源化のための技術開発を進めています。特に、長い時間軸での戦略が必要な材料開発に重点を置き、わが国の産業競争力強化への貢献を目指しています。技術研究組合リチウム電池材料評価研究センター



(LIBTEC)にも参画して、蓄電池研究開発拠点としての機能強化にも取り組んでいます。

### 健康工学技術によるライフイノベーションへの貢献

人類にとって健康でありながら長寿を全うすることが最大の課題です。関西センターと四国センターにまたがる健康工学研究部門では、日常生活において自らの意志で生きがいを持って生活するための健康維持管理に関する工学的研究を中心に、健康工学研究領域の確立、並びに21世紀における新たな健康関連産業創出に貢献することを目指しています。特に関西センターでは、バイオ技術を使った健康・医療機器開発など医工連携ものづくりに重点を置いた研究開発を推進しています。



関西センター  
所長  
こばやし てつひこ  
小林 哲彦